



六角堂

清水坂に、和田セキ氏（東辻）が建立した六角堂がある。夫が不治の病になったので、その供養のため造ったもので、高さ65cm・六角の一面の幅18cmで、頭の部分の笠は、山くずれによって破損しなくなっている。

それぞれの面に、四国八十八ヶ所・子安地藏三界萬霊・火除大明神・阿彌陀如来・猿田彦大明神・大正13年6月吉日施主和田セキと彫ってある。

日切の地藏様

泉原町高橋氏宅内に日切の地藏様を祭ったお堂がある。これは昭和30年の初め、お年寄りたちがあちこちのお大師様にお参りしていたころ、大事な石が高橋氏の家の下敷になっているといわれたので、御大師様（一ノ井手）におはらいをしてもらい、その石を綺麗に洗って祭られた。

この地藏様を「日切の地藏様」と名付け、お年寄りたちが、昔は、病気になって病院に行けばお金があるので、いつまでと日にちを決めて、病気がなおるようお願いしていたようである。

